

南小たば風通信 2018

平成31年2月12日(火) 第34号

庄山先生 授業研究 無事終了! ~お疲れさまでした~

冬休み前からの準備もろもろ、庄山先生 本当にご苦労様でした。参観していただいた先生方も、お忙しいところありがとうございました。寄せられた、励ましのメッセージ&アドバイスをまとめましたのでご覧ください。これで、予定していた授業研がすべて終了しました。この後は、次年度に向けて・・・。



【感想】

- とても落ち着いた雰囲気の良い授業だった。
- 先生の優しい声のトーン、一人ひとりへの褒めかけの言葉(書くの上手になったね。手の挙げ方がいいねなど) 子どもたちも安心して授業を受けているように見えた。
- 指示がしっかりしていてよかった。
- スーパー初任者! という表現の意味が納得。
- 板書がスッキリしていて見やすかった。
- 子どもに寄り添った授業展開、視線、見方、日常の関わり方が伝わってきた。
- 教えたことをはっきりともって授業を進めることができていた。
- 子どもの不十分な記述を見逃さず、グレードアップさせるアドバイスがよい。
- 子ども同士も相手の方を注目: 教師の手立てができていた。
- 机間巡視での子ども一人一人へのフォローができていた。(TT)
- 時間配分も予定に沿ってできていた。早く終わった子への指示もあり、タイムマネジメントも完璧!
- 返事の徹底や、話している子の方を向くなど、スタンダードも意識されていてよかった。
- 随所に肯定的な言葉かけ、やる気になるような発言と指示があり、子どものやる気を引き出せていた。全員に発表の機会をしっかりと確保していたのもよかった。
- まとめの場面で、子どもたちが発表している内容を聞いて、知識の定着や子どもの個性が感じられた。

【アドバイス・改善点】

- 発言する子が決まっているようなので、なかなか話すことが難しい子たちが話しやすくなるような手立ては何かなあ?と考えさせられるところもあり勉強になった。
- ノートにめあてを書いたあと、「心の中でめあてを読んでいてね。」など、小さな課題を伝えてあげると意欲につながるかもしれません。
- 実態に応じて、支援が必要な児童がいる場合は、単語・文節で空欄(スペース)をあげ

ると1年生には効果的な面があるかも知れません。

例) ことばの○かわりを○する。

- ワークシートに書き込む考える場面⇒意欲をかき立てる言葉かけ
「○個できた人もいるね。」「ほかの人が考えつかない考えを見つけられる人はいるかなあ？」などなど声をかけてあげると、子どもたちが もっとワクワクするかも。
- ☆の評価に関して、「身ぶりの紹介」を求めているのであれば「書こうとしている」よりは、「紹介している」の方がいいのかなと思った。
- 今回ならば、うまくワークシートにかけなくても、それこそ 身ぶり 手ぶり で説明できたらいいのかな?と思った。(単元にある本時の目標と本時案の目標のどちらが正しいのかにもよりますが・・・)



たくさんの♡心温まる♡励ましの言葉、的確なアドバイス！ありがとうございました。アドバイスを生かして、これからどんどん腕を磨いていってくださいね。ファイト！庄山（有）先生！！

☆今後の予定☆

2月27日（水） 反省・次年度に向けて